第13回

火災期に備える！

東消防署は12月1日に火災期に向けて本部庁舎を利用して消防訓練を実施しました。

今回の訓練は、夜間に共同住宅3階建てからの火災発生を想定して実施されました。

消防隊が、建物内に取り残された数名の逃げ遅れ者を安全かつ迅速に避難誘導しながら、はしごを活用した救出訓練、現場指揮統制訓練、消火訓練等、各資機材を活用し、迅速確実な消防活動並びに隊員の技術の向上をめざしました。

健闘しました！

第20回全国消防操法大会茨城県代表選考会が、11月26日に茨城県立消防学校で開催されました。出場した美和消防団は、惜しくも優勝は逃しましたが、訓練の成果を十分発揮し敢闘賞を受賞しました。

この結果に大きな拍手を送り、今後の更なる活躍を期待します。

石油ストーブなどの取扱いにご注意!!

平成16年度中におけるストーブによる火災（概数）をみると全国で1,695件発生し、なかでも石油ストーブによる火災は1,023件で最も多く、全体の60.4％を占めています。また、ストーブによる火災の主な原因は、可燃物の接触・落下、引火・ふく射、使用方法の誤り、消し忘れ、過熱、使用中の給油などとなっています。

使用にあたっての注意事項

○ストーブの近くに紙や衣類など燃えやすいものを置かない
○ストーブの近くでヘアスプレーなどの引火の危険性があるものを使用しない
○カーテンなどがストーブに接触しないように、それらのものから離して使用する
○ストーブの上方に洗濯物などを干さない
○不完全燃焼による一酸化炭素中毒を防ぐため、定期的に部屋の換気を行う

使用方法

○取扱説明書をよく読んで、正しく使用する
○石油ストーブに灯油を給油する場合は、火を消してから行う
○カートリッジタンク式のものは、給油後、タンクのふたを確実に締める
○一定以上の震動を感じたり、転倒した場合に自動的に消火する対震自動消火装置付きのものをできるだけ使用する
○就寝時、外出時には、必ず完全に消火していることを確認する